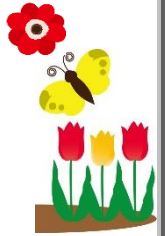




花いっぱい



令和2年10月20日 No. 38

算数の学習

くりあがりのあるたしざん

繰り上がりのあるたし算の学習が終わりました。しかし、これからも継続して問題にたくさん当たり、慣れていきたいと思っています。たし算の最後の学習で、応用問題にチャレンジしました。子どもたちには「校長先生からの暗号文」として問題を提示すると、子どもたちは一生懸命に問題を解き、友達と教え合いながらみんなできくことができました。その後、「自分も暗号文が作りたい!」と言った子には問題づくり用紙を自由に持って帰らせました。問題文の作り方は次の通りです。

① まず、こたえを つくりましょう。

そして、たしざんの しきを つくりましょう。

3+8	5+7	9+8	9+6
な	わ	と	び

こたえが11から20になるように、しきをつくるよ。

9+6のこたえは15だから、15は「び」だな。

② ヒントに もじを 入れましょう。

(ヒント)

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
な	わ			び		と			

残ったマスにも適当に文字を入れていきます。

興味を持った子どもたちの何人かは、持って帰り、問題をつくってきました。このように、自分で問題をつくることは、しっかり考えることにつながります。自主勉で子どもたちが作ってきたチャレンジ問題は、みんなにも提示して解いてもらおうと思っています。

ぼくのすきはべんきょうは？

$5+6$	$15+?$	$9+6$	$1+15$

なすくらえいこ^{より}

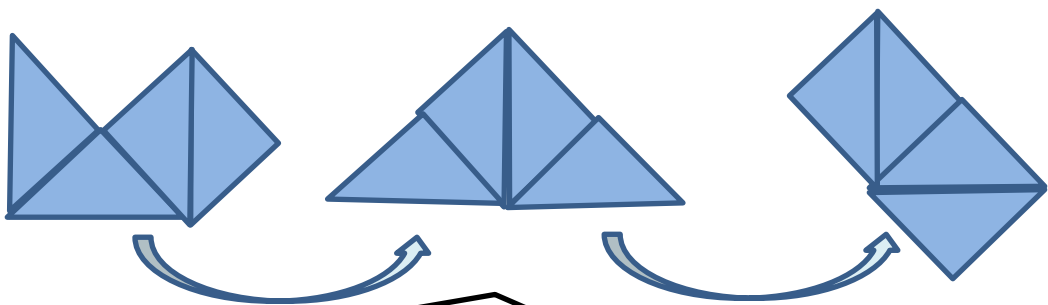
11	12	13	14	15
た	ろ	こ	さ	い

16	17	18	19	20
く	か	い	き	し

かたちづくり

たし算の次の学習として「かたちづくり」をしています。色板や数え棒を使っていろいろな形をつくり、色板でつくった形がどのように組み合わせて作られているのかを考えたり、一枚動かしたらどんな形になるかを想像したりします。一見パズルのような学習ですが、創造力を働かせないといけないので結構難しい学習でもあります。このような学習はしっかり具体物を触って動かしてみることが大切です。

教室には厚紙の正方形を切った「タングラム」というパズルを用意しています。（ネットで検索しても出てきます。「タングラムパズル」です。）一朝一夕にはいきませんが、日ごろからこのようなパズルをすることで想像力も鍛えられると思います。



色板を1枚ずつ動かしています。
どの色板を どこに動かしたか わかるかな。

ぼくのすきはべんきょうは？

$9+9$	$6+7$	$9+2$	$8+8$

あまたあらか^{より}

ヒント

11	12	13	14	15
な	と	に	し	お

16	17	18	19	20
あ	び	お	ら	び